

12A・13Aガス
(家庭用)

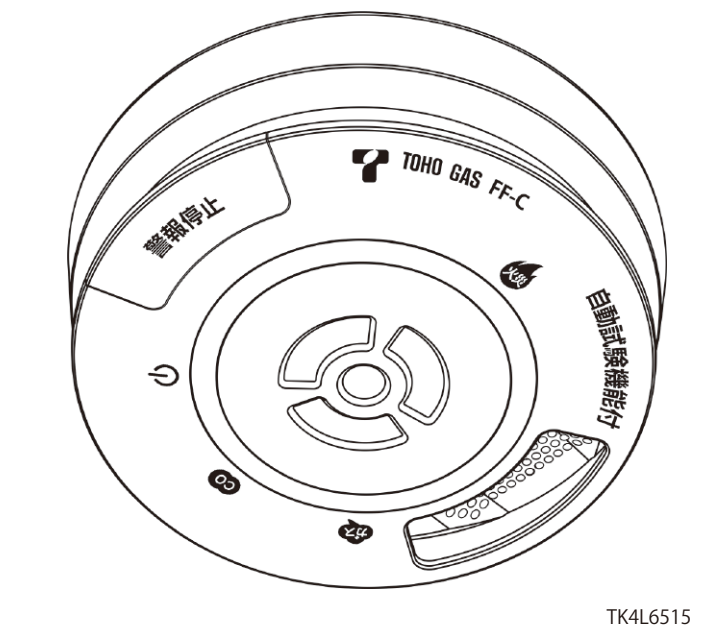
住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器

品名：FF-C 形式名：JGN6KWGA

取扱説明書（保証書付）

TOHO GAS

FF-C



- 本品をご採用いただきありがとうございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 取扱説明書を紛失されたときは、お買い求めの取扱店または東邦ガスにお問い合わせください。

この取扱説明書では本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています

発売元 **東邦ガス株式会社**
〒456-8511 名古屋市中熱田区桜田町1-9-18

製造元 **富士電機株式会社**
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
(ゲートシティ大崎イーストタワー)

保証書

品名：FF-C 型式：JGN6KWGA

このたびは住宅用火災(熱式)・ガス・CO警報器(家庭用)をお取り付けいただきありがとうございます。

この保証書は、東邦ガス供給区域内において、東邦ガスが供給する都市ガス用として警報器をご使用になる場合、本保証書の記載内容にて、無料点検または無料取り替えを約束するものです。

1. 保証期間は、お取り付け日から5年間とし、警報器本体を対象とします。
警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではございません。

2. 保証期間中万一故障した場合は、本保証書をご提示の上お求めの取扱店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

3. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で誤作動等の異常が認められた場合は、お申し出に基づき無料にて出張の上、点検いたします。

4. 取扱説明書に基づく正常な使用状態で、製造上の責任による故障の場合は無料にて出張の上、取り替えいたします。

5. 保証期間内でも本書内<保証の適用除外>に記載してある事項の場合は、有料点検または有料取り替えとなります。

6. 無料取り替えなどアフターサービス等についてご不明の場合は、お求めの取扱店、または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

お交付日

年 月 日

ご使用者

ご芳名
ご住所 〒 - -

電話 () - -

(裏面もご覧ください)

警報器の機能について

■ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定温度以上にになると、それを検知して、注意報または警報を発します。

《お断わり》

●ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。

●ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。

ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

●取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

■火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると、それを感じて警報を発します。

《お断わり》

●換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が働きません。

●火災の発生を未然に防止する装置ではありません。

火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

●警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が迫って生じる場合が想定される」内容を示します。

警報

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「必ず行う」事項を示しています。

「火気厳禁」事項を示しています。

「ぬれ手禁止」事項を示しています。

「接触禁止」事項を示しています。

「水ぬれ禁止」事項を示しています。

「分解禁止」事項を示しています。

「一般的な禁止」事項を示しています。

危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

火災警報

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

禁止

警報器を取り外さないでください。

禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

必ず行う

火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

警告

必ず行う

常に電源が入っていること(電源ランプ(緑)点灯)を確認してください。

電源が入っていないと火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

必ず行う

設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

誤動作または正常に作動しない恐れがあります。

有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。

(P.8参照)

●警報器をポリ袋などで覆う。

●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。

誤作動の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で警報器や取付ベースを触らないでください。

感電する恐れがあります。

水ぬれ禁止

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

分解禁止

分解や改造はしないでください。

故障の原因となります。

禁止

衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

禁止

警報器をお手入れするとき以外は、取付ベースから警報器を取り外さないでください。

火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

接触禁止

ガードの中にある熱感知部にはさわらないでください。

火災を感じなくなる恐れがあります。

禁止

ガス検知部は、絶対にふさがないでください。

ガスもれまたはCOを検知しなくなります。

禁止

煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。

点検ガスにフロンガスが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

注意

必ず行う

警報器をお手入れするときは、必ず警報器を取付ベースから取り外してください。

感電やけがの原因となります。

※外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続しているときは、警報器を取付ベースから取り外すと、外部機器で警報音(故障警報)が鳴ることがあります。

必ず行う

警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

禁止

取付位置を移動させないでください。

警報の遅れの原因となります。

取付位置を変える必要が生じたときは、取扱店または東邦ガスにご相談ください。

禁止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

警報の遅れの原因となります。

禁止

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。

ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。

警報器から距離を離してお使いください。

禁止

この商品は検定合格品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しませんので、それらの用途には使用できません。

対象ガス

注意

●この警報器は火災(火災等による熱)、都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。

●都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外では、お使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき

●熱感知部

熱を感じます。

●製造番号シール

製品型式、製造番号、証票などを表示しています。

●ガス検知部点検口

●ガス検知部

ガスおよびCOを検知します。

●検定合格証票

●ガス警報ランプ(赤)

ガスを検知すると点滅または点灯します。

※点灯時はP4・5を参照ください。

●CO警報ランプ(黄)

COを検知すると点滅または点灯します。

※点灯時はP5を参照ください。

●緑(電源)ランプ

通常は点灯しています。

COを検知しているときに高速点滅します。

※点滅時はP3を参照ください。

●警報停止スイッチ

警報音を停止させたり、定期点検、外部機器との連動確認をしたるときに使用します。

※詳細は、P6・9を参照ください。

●ガス、CO警報

外部出力信号端子φ

●電源端子

●ガス、CO警報

外部出力信号端子φ

●有効期限ラベル

有効期限 20 年 月 日

■ランプのつきかたについて
取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯
点滅	0.5秒ごとに1回点滅
高速点滅	0.25秒ごとに1回点滅
ゆっくり点滅	3秒ごとに2秒点灯

警報器のお知らせ機能について

火災による熱が発生したときは

火災警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)点灯

電源ランプ(緑)点灯

ウーウーカンカンカン

火災警報器が作動しました

確認してください

(約2分後)

ウーウーカンカンカン

火事です 火事です

※火災警報とCO警報が同時に成立すると、「ウーウーカンカンカン 火事です 火事です」の警報音となります。

ガスがもれたときは

注意報

ガス警報ランプ(赤)が点滅する

ガス警報ランプ(赤)点滅

CO警報ランプ(黄)点灯

電源ランプ(緑)点灯

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

警告

ウーウービッピビッピ

ガスがもれていませんか

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)点灯

電源ランプ(緑)点灯

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

注意報

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)点滅

電源ランプ(緑)点灯

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

警告

ウーウービッピビッピ

空気が汚れて危険です

窓を開けて換気してください

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)点灯

電源ランプ(緑)点灯

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

ガスもれとCO機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

ウーウービッピビッピ

ガスがもれていませんか

ウーウービッピビッピ

空気が汚れて危険です

窓を開けて換気してください

交互に鳴る

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)点滅または点灯

電源ランプ(緑)点灯

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

有効期限が過ぎたときは

有効期限を半年以上過ぎると、電源ランプ(緑)がゆっくり点滅します。

警報停止スイッチを押すと、「有効期限が切れています 販売店へ連絡してください」が鳴ります。

※お買い求めの取扱店へご連絡ください。

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)消灯

電源ランプ(緑)ゆっくり点滅

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

故障しているときは

故障が発生すると、「故障です」が1回鳴り、電源ランプ(緑)が高速点滅します。

その後「ビッピビッ」約1分ごとに繰り返して鳴り、約10分ごとに、「故障です」が鳴ります。

それ以降も同じ警報を繰り返します。

ただし、警報停止スイッチを押すと、警報音は約36時間停止します。

電源ランプ(緑)の高速点滅は止まりません。

※お買い求めの取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

故障です

その後、約1分ごとにビッピビッ

約10分ごとに 故障です

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)消灯

電源ランプ(緑)高速点滅

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)消灯

電源ランプ(緑)高速点滅

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

警報停止スイッチ

使用方法

1

警報器本体を取付ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定

確認

警報器が確実に固定されていることを確認してください。

電源ランプ(緑)が点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

取付ベース

警報器本体

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)消灯

電源ランプ(緑)点滅

2

警報器本体を取り付けてから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。

＜過去約10日以内に警報が作動した場合＞

最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。

(鳴動原因表示機能によるものです。)

火災警報ランプ(赤スライド)点灯

ガス警報ランプ(赤)点灯

CO警報ランプ(黄)点灯

電源ランプ(緑)点灯

正常です

3

「正常です」と鳴って電源ランプ(緑)が点灯し、監視状態に入ります。

＜警報器が故障している場合＞

「正常です」と鳴らずにP3下部に記載されている故障発生時の動作となります。

※取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルへご連絡ください。

火災警報ランプ(赤スライド)消灯

ガス警報ランプ(赤)消灯

CO警報ランプ(黄)消灯

電源ランプ(緑)点灯

警報器が作動したら

1

『ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』または『ウーウー カンカンカン 火事です 火事です』と鳴ったときの処置のしかた

【火災警報ランプ(赤スライド)が点灯】<火災警報>

『ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』の警報音が約2分間継続すると、または、火災警報とCO警報が同時に成立すると、「ウーウー カンカンカン 火事です 火事です」と警報音が変わります。

2

火元の確認をする。

必要な手段をとる。

119番への通報

119

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときは東邦ガスにご連絡ください。

警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以下になると、警報音が鳴りやみ、火災警報ランプ(赤スライド)が消灯します。

《お断わり》

●火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、ガス警報ランプ(赤)およびCO警報ランプ(黄)の点灯、点滅の有無を確認してください。

※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。

●ガス警報ランプ(赤)およびCO警報ランプ(黄)が点灯している場合は、P4・5の処置を行ってください。

<火災以外の熱などで火災警報を発しているとき>

P.6の処置を行ってください。

2 ガス警報ランプ(赤)が点滅しているときの処置のしかた<ガス注意報>

1

ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、ガス警報ランプ(赤)は消灯します。

2

原因を確認する。

ガス濃度がうすい場合に点滅します。

室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.6参照)

《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は連動動作しません。

3

『ウーウー ビッピビッピ』

ガスがもれていませんか

と鳴ったときの処置のしかた

【ガス警報ランプ(赤)が点灯】<ガス警報>

1

ドアや窓を開けて換気する。

2

ガス栓や器具栓を閉める。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【ガス警報ランプ(赤)消灯】

4

ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

4 CO警報ランプ(黄)が点滅しているときの処置のしかた<CO注意報>

1

ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、CO警報ランプ(黄)は消灯します。

2

原因を確認する。

CO濃度がうすい場合に点滅します。

室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.6参照)

《お断わり》

●外部機器と連動している場合、CO注意報(黄ランプの点滅のみであり、CO警報音が鳴っていない状態)では、外部機器は連動動作しません。

※CO警報ランプ(黄)の点滅が約5分間継続すると、「ウーウービッピビッピ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

5 『ウーウー ビッピビッピ』 空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた【CO警報ランプ(黄)が点滅または点灯】<CO警報>

1

ドアや窓を開けて換気する。

2

ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

3

COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【CO警報ランプ(黄)消灯】

6 『ウーウー ビッピビッピ』 ガスがもれていませんか』と『ウーウー ビッピビッピ』 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた【ガス警報ランプ(赤)が点灯、CO警報ランプ(黄)が点滅または点灯】<ガス警報とCO警報の同時警報>

1

ドアや窓を開けて換気する。

2

ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。

3

ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)消灯】

4

ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

7 部屋の外から警報音に気づいたときは

1

部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。

2

ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓をあけるときは東邦ガスにご連絡ください。

3

ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4

部屋に入り、ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)の消灯を確認する。

5

ガス栓や器具栓を閉める。

6

ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

1

2

3

4

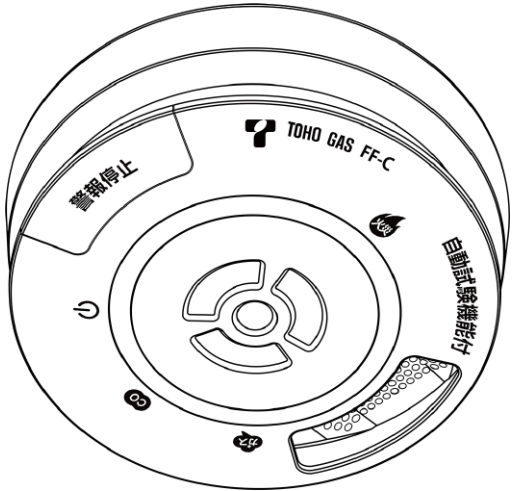
5

12A・13Aガス
(家庭用)
住宅用火災(熱式)・ガス・CO 警報器
品名：FF-C 形式名：JGN6KWGA



取付説明書（施工される方へ）

お客さまにこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この取付説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



TK4L6516

1 施工される方へのお願いとご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。
注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

警告 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 注意

警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように、取り扱いには注意してください。

△ 警告

- お客さまに、この警報器を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。
- お客さまへ引き渡す前に、必ずお客さま立会いのもとで本書記載の各種点検を実施してください。
万一、作動不良があった場合は交換してください。
外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書、設置工事説明書に基づいて作動点検をしてください。
- 取り付け、点検が終わってから、「警報器の説明」「警報時にとるべき処置」についてお客さまに説明してください。

<お願い>

- 有効期限を経過して交換した警報器の廃棄処理について
・一般廃棄物として処理しないで、産業廃棄物として処理してください。
- ・本品には一般廃棄物として焼却処理した場合有害ガスが発生する恐れのある材料が含まれています。決められた処理ルートがある場合は、それに従ってください。

2 取り付け前の確認

2-1 警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用（熱式火災感知・CO警報機能付）であり、本体に異常のないことを確認してください。

2-2 梱包部品の確認

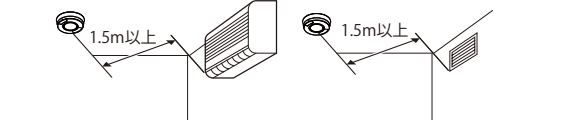
梱包部品の種類と個数を確認してください。

本体…1個 	取扱説明書(保証書付)…1冊 取付説明書…1冊
リースシール…1枚	

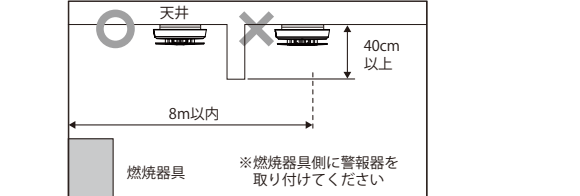
※取り付けには、下記の別売品が必要になる場合があります。
・外部機器への連動がある場合：接続用リード線

2-3 取付位置の確認

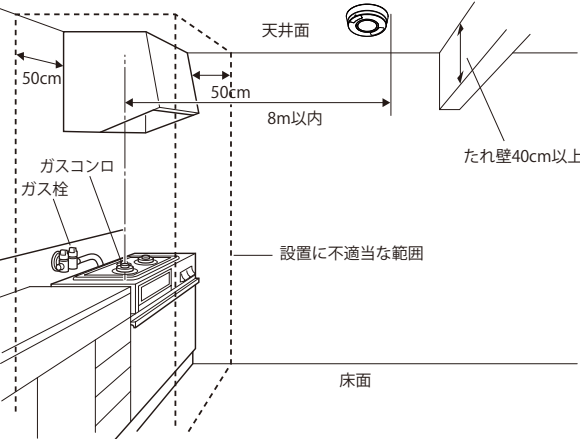
- 警報器を設置する前に、警報器の種類、型式等が指定を受けたものであることを確認するとともに、設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。
- 取り付け位置を決めるときは、次のことをよく確認してください。
- 換気口など、空気の吹き出し口から1.5m以上離してください。



- 天井面が40cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



■取付例



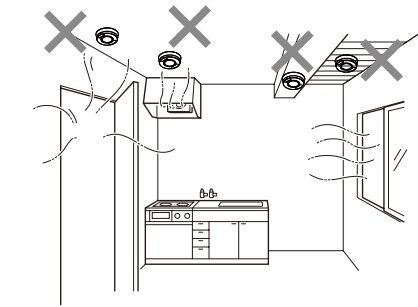
※取り付けおよび取り付け位置の移動は、取扱店または最寄りの東邦ガスにおまかせください。

△ 注意

警報器を以下の場所には絶対に取り付けしないでください。
次のような取り付け方は、警報遅れや誤報、故障などの原因になります。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しのよいところ、すき間風の入るところ
- 40cm以上のたれ壁で区切られているところ
- エアコン等の吹き出し口の近く

警報が遅れたり、検知できないことがあります。



- たれ壁やはりの近くから40cm以上離してください。



- 30cm以上（警報器含）のたれ壁などの下。



- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。
- 使用時でないとき電源を入れない場所。

警報器としての機能を果たしません。

- カーテンウォールなどで仕切られた場所。

警報が遅れます。

- 振動、衝撃の激しい場所。

センサの故障の原因になります。

- 照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。

センサの故障の原因になります。

3 取り付けかた

取り付けには、取付ベース（別売品）が必要です。
警報器の取付時には、警報器を落とさないよう注意してください。

3-1 取付ベースの取り付け

取付ベース(別売品：SH-5900)に付属の取付説明書に従って取り付けてください。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙および調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。

- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。

感電や電氣的故障の原因になります。

- 温度が0～+40℃の範囲をこえる場所。

警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。

- 食器棚などの上部。

警報が遅れます。

- 屋外。屋外用ではありません。

警報が遅れます。

- 業務用・工業用。家庭用です。業務用・工業用ではありません。

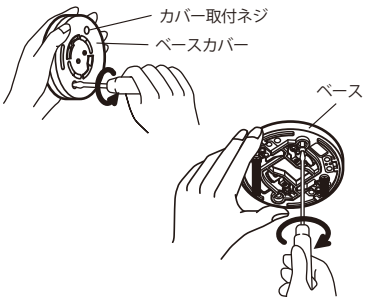
△ 注意

- 警報器の電気工事は、必ず電気工事に依頼してください。一般の方は、電気工事をする事ができません。
- 金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用配線を同一配線するときは、外部出力用配線は600V絶縁電線でφ1.2mm以上のものを使用してください。
- 端子は内側が電源（AC100V）用、外側が外部出力用です。誤結線しないように注意してください。誤配線すると内部回路が破損します。また、ガス警報、CO警報外部出力用配線は、極性がありますので、正しく接続してください。

■取付ベースの取付方法

- ベースの取付寸法はピッチ66.7mmです。
- ボックスに取り付ける場合は下記のボックスに適合します。
[適合ボックス]
JIS C8340 アウトレットボックス・コンクリートボックス
[適合ボックスカバー]
JIS C8340 丸穴カバー

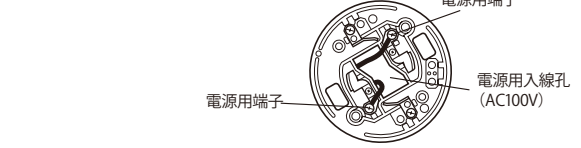
- ①カバー取付ネジをゆるめて、ベースからベースカバーを外す。



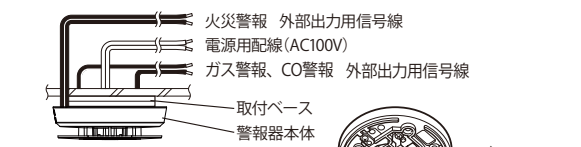
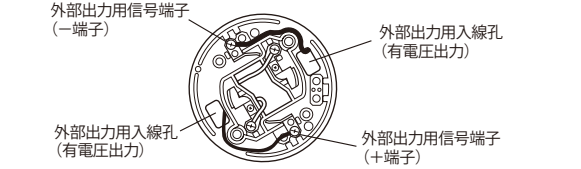
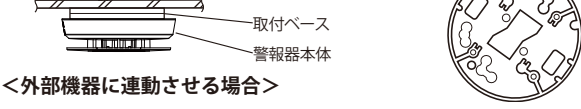
- ②ベースを付属の木ネジで天井に取り付ける。

- ③電源線を電源用端子に、外部機器に連動させる場合は、ガス警報、CO警報外部出力用信号端子にそれぞれ下図のように配線する。

<電源線のみを配線する場合>



<外部機器に連動させる場合>



3-2 有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後5年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限ラベル」に、有効期限の年月を記入してください。

有効期限 20 年 月 日

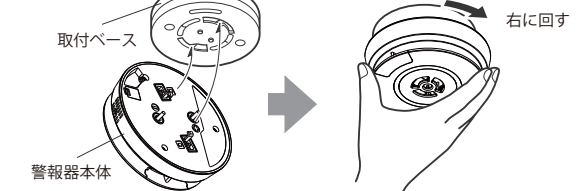
有効期限ラベル

3-3 警報器本体の取付

△ 注意

- 警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。
- センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。
- 本体にある熱感知部に触れないように作業してください。
- センサの破壊など、正常に作動しない恐れがあります。

警報器本体を取付ベースに合わせ、止まる位置まで右に回して固定する。



<確認>

取り付けた警報器にガタつきがないことを確認し、確実に固定されていることを確認してください。

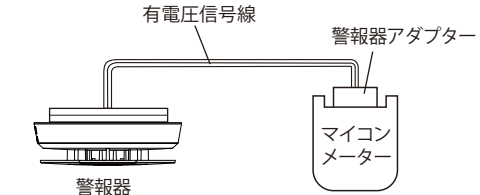
3-4 外部機器への連動接続

△ 注意

- 外部機器と接続する場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて作動点検を実施してください。
- ガス・ＣＯの外部出力は有電圧出力ですので、外部機器と接続する場合は極性に注意してください。

■外部機器との接続のしかた

マイコンメーターとの連動の方法



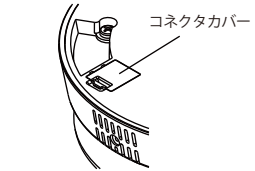
■火災警報信号の引き出し方法

<準備するもの>

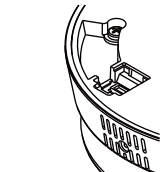
接続用リード線（別売品）



①コネクタカバーを外してください。



③接続用リード線を本体のコネクタへしっかり差し込んでください。



■外部機器との連動対応表

上段 ○：連動可能
×：連動不可
△：警報器アダプターが必要

下段 警報器が鳴り始めてから、各機器が作動するまでの遅延時間の例です。遅延時間は外部機器によって異なります。

警報器の種類 外部出力信号	警報時の動作	火災警報	ガス警報	ＣＯ警報	備考
		無電圧接点ON 火災警報 外部出力信号線 (赤・赤)	DC12V ガス警報、ＣＯ警報 外部出力コネクタ (白・灰)	DC18V 火災警報、ＣＯ警報 外部出力コネクタ (白・灰)	
戸外ブザー	警報音が鳴る	×	○	○	ガス警報、 ＣＯ警報用
マイコンメーター	ガスを止める	△	△	△	
住宅情報盤	警報表示および 警報音が鳴る	※1	○	○	
集中監視盤	警報表示および 警報音が鳴る	※1 ※2	○	○	

※1 接続する場合は、取扱店または最寄りの東邦ガスにご相談ください。
※2 機器の設定により、遅延時間が異なります。

△ 注意

- 外部出力コネクタには極性がありますので、外部機器と接続する場合はご注意ください。
- 住宅情報盤および集中監視盤への接続は、各機器の取扱説明書と保証書に基づいて行ってください。
- 外部機器では、ガスとＣＯの警報判別はできません。ただし、一部の住宅情報盤で判別できるものがあります。
- 遅延時間は一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書でご確認ください。
- 外部連動については、取扱店または最寄りの東邦ガスにご相談ください。

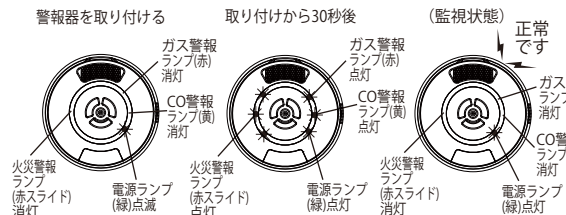
4 取り付け後の点検

【お客さま立会いのもと実施】

この警報器は、通電開始後の約30秒間でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。「自動初期点検機能の確認」を行ってください。続けて、「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」も行ってください。状況により「警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認」ができない場合は、お客さまに取扱説明書で鳴動内容を説明してください。通常「作動点検」は不要ですが、お客さまから作動確認の要望があった場合は、「作動点検」を行ってください。

4-1 自動初期点検機能の確認

- ①警報器本体を取付ベースからいったん取り外す。
 - ②警報器本体を取付ベースに取り付ける。（電源投入）
- 電源ランプ(緑)が点滅し、約30秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って電源ランプ(緑)が点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。万一、異常があれば、「故障です」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
※ガス警報ランプ(赤)が点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。



- 電源ランプ(緑)が点滅中は作動点検を実施しないでください。

4-2 警報ランプと警報音、外部機器との連動確認

△ 警告

- 点検時、決してライターなどを使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒をしてけがをする恐れがあります。

△ 注意

- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰作業を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

外部機器との連動点検

- ①警報停止スイッチを約3秒間押すと、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。（電源ランプ(緑)が点滅を開始）その後警報停止スイッチを離すと外部出力信号が1分間出力されます。（有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。）

②以下の動作を行います。

動作順	音声内容	ランプ				火災出力	有電圧出力 (12V⇄18)
		緑 (電源)	黄 (CO警報)	赤 (ガス警報)	赤スライド (火災警報)		
1	ウーウー カンカンカン 火事です 火事です	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
2	ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
3	ウーウー ビッピッピッピッ ガスがもれていませんか	点滅	消灯	点灯	消灯	ON	ON
4	ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点灯	消灯	消灯	ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

(注) 上記の動作は連動点検用で、警報時の動作とは異なります。警報時の動作は取扱説明書を参照してください。

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(電源ランプ(緑)点灯)に戻ります。

<1分以内に点検を終えたいとき>

上記の動作中に警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。

4-3 作動点検

<お願い>

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、監視状態に移行後3分30秒間(電源投入から4分間)に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後の電源ランプ(緑)が点滅している間(30秒間)は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発しないため、作動点検を行わないでください。上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報器をいったん取り外し、再度警報器を取り付けてから行ってください。

また、上記時間内であっても一度作動点検を行うと採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されますので、ご注意ください。通電開始後の電源ランプ(緑)が点滅している間や点灯に変わる際に火災警報機能の点検を行った場合、約30秒経過しても「正常です」が鳴らず、点検ガスに対して反応しやすい状態に移行しない場合があります。

<準備するもの>

- 点検ガス採取器（別売品）
- ガスライターまたはテーブルコンロなど炎からガスを採取できるもの

△ 注意

アルコールを主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。

■ガス・ＣＯ警報機能の作動点検方法

- ①周囲に引火物の無いことを確認してからガスライターまたはガスコンロを点火し、炎の高さを以下の通り調整する。
 - ・ガスライターの場合 約4cm
 - ・コンロの場合 約5cm炎が小さいとガスが採取しにくくなります。



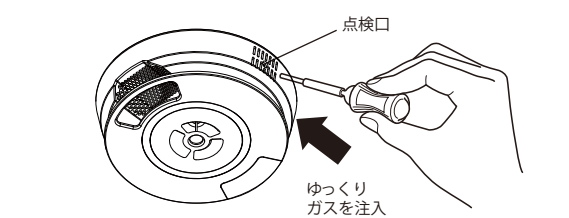
- ②点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端を炎の外炎の中央部へ持っていく。
- ③容器の圧縮をゆっくり(約3秒程度)ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。
- ④点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスライターの炎を消す。

△ 注意

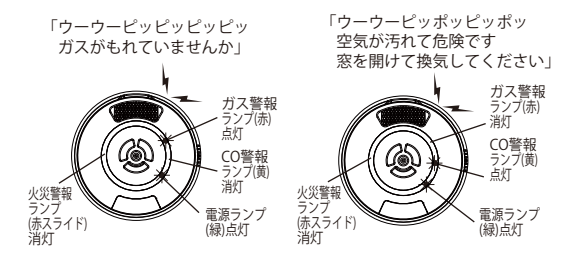
- 炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。先端は熱くなるのでやけどに注意

- 外部機器（マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等）が作動しますので、連動点検を行う場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。※ガスセンサは、約20秒周期でガス検知とＣＯの検知を繰り返しています。各ガス検知タイミングは一定周期毎になっておりますので、ガスの注入タイミングがずれたり、あるいは注入したガスが薄まったりすると、警報までいたらない場合があります。※点検ガスの注入から警報を発するまでに、時間差があります。連続して採取ガスをかけ続けると、警報器がなかなか鳴りやまない場合があります。

- ⑤採取管の先端部分の温度が下がるまで(約30秒程度)待つ。
- ⑥採取管の先端部分を警報器の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入する。



⑦ガス警報ランプ(赤)が点灯し、ガス警報音「ウーウー ビッピッピッピッ ガスがもれていませんか」が鳴り、ＣＯ警報ランプ(黄)が点灯し、ＣＯ警報音「ウーウー ビッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴ります。吹き掛けのタイミングにより、ガス警報とＣＯ警報の順番が逆になったり、交互に鳴る場合があります。



- ⑧ガスがなくなると、ガス警報ランプ(赤)とＣＯ警報ランプ(黄)が消灯します。※電源を入れてから4分間は、有電圧出力が一度出力されると、ガスがなくなり監視状態に戻っても出力が保持されます。この間に警報停止スイッチを押しても出力は解除されません。電源投入から4分間が経過しますと通常の状態に戻ります。火災警報外部出力に保持機能はありません。また外部機器の作動を解除するときは、いったん警報器を取り外してください。

<お願い>

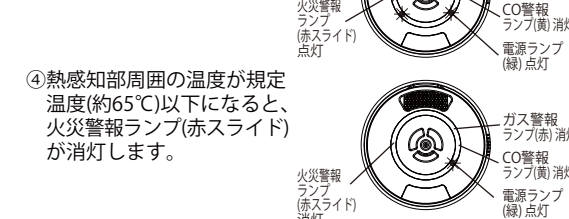
警報音が鳴りやまない場合は、いったん警報器を取り外し、再度警報器を取り付けて「自動初期点検機能の確認」を行ってください。

△ 警告

採取したガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。直接吸引するとＣＯ中毒を起こす恐れがあります。

■火災警報機能の作動点検方法

- ①ヘアドライヤーの吹出口を、警報器の熱感知部に垂直に当てる。
- ②ヘアドライヤーの電源スイッチを入れ、温風を吹きかける。
- ③火災警報ランプ(赤スライド)が点灯し、火災警報音「ウーウー カンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください」が鳴ります。



△ 注意

- ヘアドライヤーを離した直後の警報器は熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。
- ライターなどの直火による加熱試験は、行わないでください。破損の原因になります。

4-4 警報履歴の確認

■過去10日以内に警報が作動したかどうかの点検（鳴動原因表示機能）

警報器が鳴動した履歴がある場合、下記の方法で過去10日以内に発生した警報の種類を確認することができます。
●上記のランプ表示動作は、最新1回のみの警報履歴をお知らせしているものです。
●警報履歴は警報解除から約10日間経過した場合、消去されます。
(1) 警報器を取付ベースに取付けて電源を入れてください。
(2) 電源ランプ(緑)が点滅し、約1分後に全てのランプが約1秒間点灯します。
(3) 鳴動の履歴がある場合は、過去10日以内に警報したランプがさらに約1秒間点灯します。
※鳴動の履歴が無い場合は、ランプ1秒点灯は動作しません。
(4) 電源ランプ(緑)が点灯状態となり、「正常です」を発した後、監視状態となります。

No.		ランプ表示			
		電源(緑)	火災(赤)	ガス(赤)	ＣＯ(黄)
1	初期鳴動防止機能中(30秒)	点滅	消灯	消灯	消灯
2	ランプ全消灯(1秒) ⇒ 全点灯(1秒)	消灯	消灯	消灯	消灯
3	警報履歴の表示(1秒)	なし	表示なし	表示なし	表示なし
4	ランプ全消灯(1秒)	消灯	消灯	消灯	消灯

※ スイッチ点検(4分以降の短押し時)にも同様の点検が行えます。

5 お客さまへの説明について

<お願い>

- お客さま立会いのもとで点検が終わったら、必ずお客さまに以下の説明を行い、ご理解を得てください。

5-1 お客さまへのご説明内容

1. 警報動作と自動初期点検結果および警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認結果の説明。
2. 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、取扱説明書・保証書保管のお願い。
3. 取扱説明書に基づく主要機能の説明と確認。
 - (1) 火災警報の内容[赤ランプの点灯、音声合成音の確認]と警報時にとるべき措置の説明。
 - (2) ガス警報の内容[赤ランプ点灯、警報音声の確認]と警報時にとるべき措置の説明。
 - (3) ＣＯ警報の内容[黄ランプ点灯、警報音声の確認]と警報時にとるべき措置の説明。
 - (4) ガス・ＣＯの同時警報と警報時のとるべき措置の説明。
 - (5) 部屋にいない場合に警報が鳴ったときのとるべき措置について。
 - (6) 誤報が発生する場合について。
 - (7) 警報停止スイッチの説明。
 - (8) 日常点検方法の説明。

5-2 お客さまへの周知事項

1. 警報器の有効期限(本体貼付のシールに表示)と保証期間。
2. 警報器の移設禁止。(移設依頼時の連絡先)
3. 警報器の分解禁止。
4. 引越時の措置。
5. 故障・異常時の連絡先。